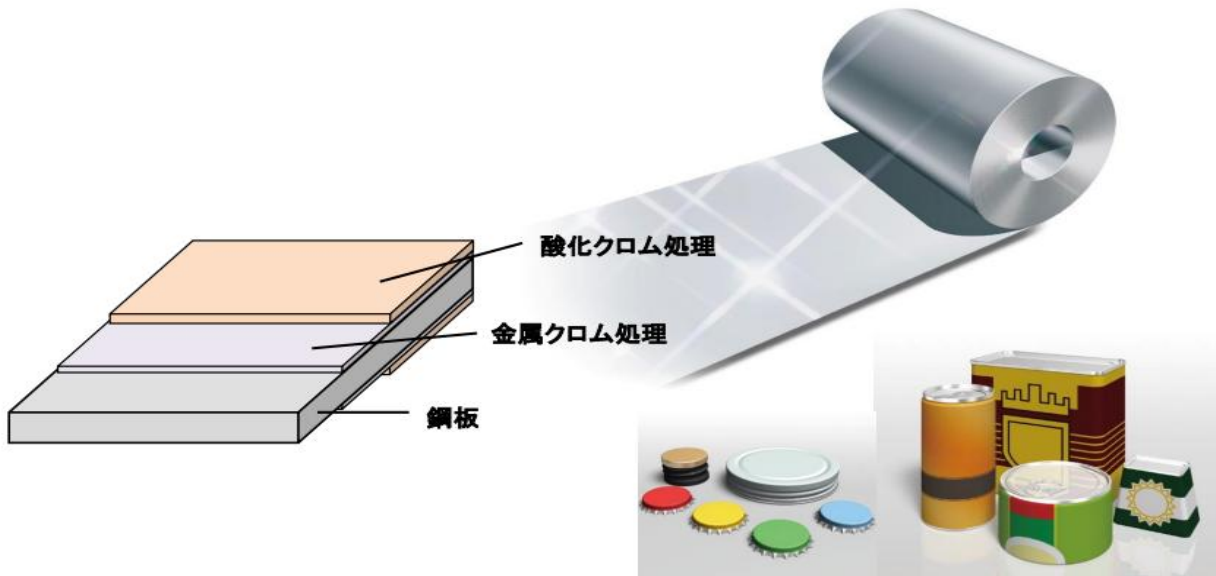




## ティンフリースチール (TINFREE STEEL)



### 算定単位

1 t

### 算定対象段階

最終財  中間財

製造段階 (原材料調達、原材料の輸送、製品の製造)  
および間接影響

### 製品の型式、主要仕様・諸元

製造サイト：名古屋製鉄所、九州製鉄所

主な規格：NTCS、SPTFS、A657M-03、  
SUS430-TFS、NTCW

形状：コイル、シート板

主な板厚 (単位mm、t=板厚)

t=0.15~0.6

### 登録番号

JR-AW-20001E-C

### 適用PCR番号

PA-180000-AW-05

### PCR名

鉄鋼製品 (建設用を除く) (中間財)

### 公開日

2020年10月26日

### 検証合格日

2024年1月29日

### 検証方式

個品別検証方式

### 検証番号

JV-AW-24025

### 検証有効期間

2029年1月28日

### PCRレビューの実施

認定日等 2023年 5月 10日

委員長 松野 泰也

千葉大学

### 第三者検証者\*

#### 外部検証員

牧野 直樹

ISO14025に従った本宣言及びデータの独立した検証

内部  外部

\*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

### 問い合わせ先

日本製鉄株式会社  
ブリキ営業部 ブリキ技術室  
TEL : 03-6867-6558  
<https://www.nipponsteel.com/>

### ① ライフサイクル影響評価結果

影響領域	製造+間接影響	製造のみ	単位
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	1600	2800	kg-CO <sub>2</sub> eq
酸性化	-0.57	1.2	kg-SO <sub>2</sub> eq
富栄養化	0.0061	0.027	kg-PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> eq

スコープ3やカーボンフットプリントの算定に関しては「⑥-1.その他の環境関連情報」を必ず参照のこと。

内訳	項目	単位	合計	【A1】 原材料調達	【A2】 原材料の輸送	【A3】 製品の製造	【D】 間接影響
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a		kg-CO <sub>2</sub> eq	2.8E+03	6.7E+02	1.2E+02	2.0E+03	-1.1E+03
オゾン層破壊		kg-CFC-11eq	4.3E-06	4.5E-07	7.7E-10	3.9E-06	-2.0E-07
酸性化		kg-SO <sub>2</sub> eq	1.2E+00	7.1E-01	7.2E-02	3.8E-01	-1.7E+00
光化学オキシダント		kg-C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> eq	1.9E-02	5.6E-03	1.2E-03	1.2E-02	-2.4E-01
富栄養化		kg-PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> eq	2.7E-02	5.5E-03	6.9E-13	2.1E-02	-2.1E-02

### ② ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目		単位
非再生可能資源	8.7E+02	kg
非再生可能エネルギー	3.2E+04	MJ
再生可能資源	1.2E+03	kg
再生可能エネルギー	5.1E+02	MJ
淡水の消費	5.4E+00	m <sup>3</sup>

### ③ 材料及び物質に関する構成成分

材料・物質 (使用部分)		単位
鉄[Fe]	≥98.9	%
マンガン[Mn]	≤0.60	%
ニッケル[Ni]	≤0.20	%
クロム[Cr]	≤0.10	%
銅[Cu]	≤0.20	%

### ④ 廃棄物関連情報

項目		単位
有害廃棄物	0.0E+00	kg
無害廃棄物	2.1E+00	kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

### ⑤ 算定結果に関する追加情報

①間接影響として、JISQ20915に基づく鉄鋼材料のリサイクル効果を評価し、上記の表【D】にその値を記載した。間接影響分は上記の表【A1】～【A3】の合計値に加算される。

計算に使用したリサイクル率は93.0% (計算はJISQ20915に従い、2018年度の国内データ (出典：日本鉄鋼連盟、鉄源協会、スチール缶リサイクル協会) を使用)

②輸送シナリオはPCRに従った。

③電力原単位は「電力, 一般電気事業者10社平均, 2014年度」を使用した。

#### ⑥-1.その他の環境関連情報

ISO14001認定工場で生産している。

[気候変動 IPCC2013 GWP100a] に関する注意：

本製品の購入者が、その組織のスコープ3 カテゴリー1のGHG排出量を算定する場合や、本製品を用いて製造する製品のカーボンフットプリントを算定する場合には、以下のURLを必ず確認すること。

<https://www.nipponsteel.com/product/cfp/certificate.html>

(上記URLの内容は、EPDの検証対象外)

#### ⑥-2.有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等
マンガン[Mn]	7439-96-5	労働安全衛生法 第57条の2第1項、化学物質排出把握管理促進法 第一種指定化学物質
ニッケル[Ni]	7440-02-0	労働安全衛生法 第57条の2第1項、化学物質排出把握管理促進法 第一種指定化学物質
クロム[Cr]	7440-47-3	労働安全衛生法 第57条の2第1項、化学物質排出把握管理促進法 第一種指定化学物質
銅[Cu]	7440-50-8	労働安全衛生法 第57条の2第1項

#### ⑦使用した二次データの考え方

IDEAv2.1.3を使用した。また、スクラップ原単位 (スクラップ LCI) は原単位登録番号：JP-AJ-0001を使用した。

#### ⑧備考

2024年1月外販プロセスガスの取り扱いを修正した。

2024年7月合金添加量を修正した。

2026年4月1日「⑥-1.その他の環境関連情報」に補足説明を追記。

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。  
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)